REAL　SHOOTING

チャリソン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ＲＥＡＬ　ＳＨＯＯＴＩＮＧ

【Ｎコード】
Ｎ０５２１ＢＩ

【作者名】
チャリソン

【あらすじ】
『ＲＥＡＬ　ＳＨＯＯＴＩＮＧ』とは２０××年に発売され、大流行したゲームだ。
庶民向けではなく確実に上流階級の者に向けられたゲームであり、クオリティーは高く、世間一般の『神ゲー』というようなレベルの物であったことにされている。この物語は僕が落ちこぼれ、落ちぶれて、
結局最後の最後で皆の期待を裏切った空想でも妄想でもない物語だ。

タイトルコール（前書き）

初投稿、作者の実力不足のため、誤字脱字及びに稚拙な文章などの理由で気分を害される可能性があります。以上のことを了解した上で、
本作品を御利用されることよろしくお願いします。

タイトルコール

『タイトルコール』

西暦　２０××年××月××日　あのおぞましき日を忘れた事はない。全てが始まったあの日……そう僕がこれから語らおうというのは決して空想でもなく妄想でもなく真実だ。けれど僕という人間はどこまでも落ちこぼれ落ちぶれそれでもなお下へ下へ落ちていくような人間なのだからどうしようもない事に面白おかしく語ることも誰もが涙し感動するように語ることもできない。そんな僕でも真実を語ることは許されていると思うし、許してほしい。僕の周りの優しい人々とその優しさと期待を裏切ったこの愚かな僕の物語を…

そう残忍残虐悪逆非道なあのゲーム「ＲＥＡＬ　ＳＨＯＯＴＩＮＧ」の物語を…

『取扱説明書』

とりあえずはゲームの説明からしていきたいと思う。といっても簡単に説明できるものではないので、ゆっくり説明していきたいと思う。もちろん物語の中でも
補っていくつもりだ。なにしろ、あの始まりの日すら忘れてしまった。
僕のことだうまくすべてを説明しきることはできないと思うが許してくれ。
まず「ＲＥＡＬ　ＳＨＯＯＴＩＮＧ」というのは何度も言うとおりゲームだ。ジャンルは
ＦＰＳ、ファーストパーソン・シューティングゲームだ。いわゆる「１人称視点シューティングゲーム」と呼ばれるものだ。勘のいい皆様のことだ。もう気付いているだろうが、何とも安直なネーミングセンスのこのゲーム、そう
『『ＲＥＡＬ』ＳＨＯＯＴＩＮＧ』である。そう、リアル…現実。
そう現実のように体感
できる´´ＦＰＳゲーム，，それが売りのゲームだったのだ。ルールはいたって簡単。初期に与えられた装備で相手を倒し、強い装備を手に入れてさらに敵を倒すという
ゲームだった。僕は最初これは仮想空間の中でやるものだと思っていた。みんなもそうであると思う。一回このゲームの契約書に目を通せばわかる。
どこにも´´死なない，，とも´´これは仮想空間のものであり現実に影響を
及ぼさないとされる，，とも書かれていない。まあ僕が契約書に目を通したの´´ゲームが始まった後，，だったのだけれど。
とまぁここまで説明しておいて何だがここで説明し忘れたことが三つほどある。

いきなり忘れすぎだと怒らないでほしい。
まず一つ目、この話はパラレルワールドの物語だ。
いきなり話がファンタジーチックになってきたが、いわゆる並行世界。
皆様方の世界を〝観測〟してみるに７０億人の人口がいるようであるが、
その７０億人が人生の中でさまざまな選択をすることにより、無数に分岐するもので
もしあそこでこうしたら、という〝もし〟という単語から始まる一文によって、
表わされる世界だ。今僕は〝観測〟といったが、僕の世界ではパラレルワールドを〝行き来〟することはできないが、〝観測〟
することができる。だからさまざまな技術がどの世界においても、僕の世界が
最高峰なのである。パラレルワールドを〝行き来〟することはできないが
行くことはできる。帰ってはこられないため誰も行こうとする者はいない。
だが、物を送ることはできるため今この物語を皆様方の世界に送ろうと思う。
そして二つ目は、一つ目で挙げたようにこの世界は皆様方の世界とは違う技術レベルにある。そのため、皆様方の世界には存在しない〝魔学〟
というものが存在する。皆様方の世界でいう〝魔法〟だ。僕の世界でも
元々魔法と呼ばれていたため、〝魔学〟といわれている。だから、
皆様方の世界ではありえない出来事も僕の世界ではありえる。
とりあえず、軽く説明を入れておくが〝魔学〟とは薬や遺伝子

操作で作り出した
強化人間、完全に一から作りだした人造人間、体の一部または全てを機械に代替をした機械人間代替型、体の一部または全てを機械で補助している機械人間補助型のどれかに当てはまる人間が、能力または機械で身辺の分子を違う分子に変えるものである。僕は専門家ではないのであまり詳しいことは知らない。ただあと二つ知っているのは、´´人造人間の中で何体か最高傑作と言われた個体が存在し、体のパーツの一つ一つが能力を有し、その能力は、移植された後の人間に受け継がれる，，ということと´´その能力を有したパーツの1個体分全て僕が持っているということ，，だけである。もっと詳しく言うとパーツというより、存在が能力を持っているのである。どうして生まれたかすらわからないその個体を科学的にも魔学的にもいまだに解明できていない。さて最後の一つは僕の名前そして環境についてだ。もちろんゲームを始めた日付のように忘れただのとは言わない。今の僕の体がさっき言った通りに最高傑作と呼ばれた個体の一つの体になってしまっているとはいえ、僕は僕だ。たとえ名前に意味がなくなろうとも変わらないことだ。と長い前置きをしたところで自己紹介だ。僕の名前は『エファール＝ガルベニアス』だ。長い名前を最低限まで短縮したが、これでも長いので、愛称は『エファ』だ。
ガルベニアス家は僕の世界でなかなかの名家だ。上流階級に身を置くものとして、
知らない者はいない。僕もその家の長男として期待されて育ってきた。

だが僕の遺伝子はそんなこと全く無視して最低限人として生きれる能力しか
くれなかった。だから僕は、『ＲＥＡＬ　ＳＨＯＯＴＩＮＧ』をやらしてもらえたのだ。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n0521bi/

REAL　SHOOTING

2012年10月18日10時29分発行